



ウッドショップ木心里
(鹿島裕司・日高ゆかり)

鹿児島・熊本県 視察レポート

令和3年
12月8日(水)
～12月10日
(金)

●鹿児島県内製材所・木工所・鹿児島工業技術センター視察

【目的】

- ・鹿児島本土の木材・製材・木工の状況について知る。
- ・屋久島産材と鹿児島本土材（宮崎・熊本産材）の材質の違いを学ぶ。
- ・比較することで、屋久島産材の価値やPRポイントを知る。
- ・屋久島の自然と人（文化）を活かした観光や産業に繋がるように、他の地域を視察する。

【視察場所】

- ・大和木材株式会社
- ・上野木材有限会社
- ・鹿児島工業技術センター
- ・MOKU KIRISHIMA

●熊本県木育関連施設・九州育種場視察

【目的】

- ・木育関連施設を訪問し、県産材の活用や普及・木育について学ぶ。
- ・屋久島産材と鹿児島本土材（九州材）の材質の違いを学ぶ。

【視察場所】

- ・芦北町こどもの広場（芦北町総合コミュニティセンター）
- ・人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868
- ・国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場

●大和木材株式会社

〒891-1104 鹿児島県鹿児島市油須木町1 299-1
☎099-245-7048

- ・主に住宅資材として高品質な木材をプレカット、公共事業用の土木資材や様々なニーズに対応して豊富なバリエーションに対応。
- ・在来軸組構造材・羽柄材（垂木・筋違・間柱・窓材）合板（野地・床）の加工。
- ・屋久杉の製材に使用していたもので、大径木の質挽き。
- ・木を使ったオリジナルの遊具や木育用の玩具、看板等。
- ・インテリア・エクステリア・家具・介護改修工事。

【課題】端材の活用や地域の山づくりを積極的にしていきたい。



●鹿児島工業技術センター

〒899-5105 霧島市隼人町小田1445-1
0995-43-5111

- ・ 製造業への支援例をあげると、「新製品等研究開発事業」として新しい生活様式を踏まえた新製品開発、新たな販路開拓や業務の効率化のための取り組みを支援。
- ・ 独自の技術や県内の地域資源を活用して、県内企業に役立つ技術開発を推進。
- ・ 「開発」と「技術開発」。
- ・ 木竹材の地域資源に関する技術相談、依頼分析・試験等の技術支援と関係技術の研究開発。
- ・ 木竹材の乾燥、保存技術
- ・ 木竹材の利用・加工技術
- ・ 木構造、木竹材の強度、性能評価
- ・ 木質建築の性能評価、木質材料 など。



●上野木材有限会社

〒899-6207 始良郡湧水町米永650-1
0995-74-2150

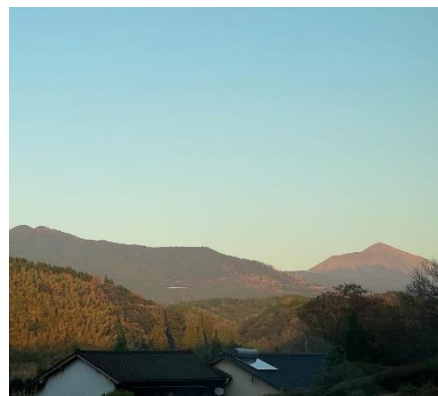
・「JAS認証工場」

JAS制度は、「農林物資の規格化及び品質表示の適性化に関する法律(JAS法)」に基づいて、農林水産大臣が制定した日本農林規格(JAS規格)による検査に合格した製品にJASマークをつけることを認めるもので、これによって、製材などの農林物資の品質の改善、生産の合理化、取引の単純公平化などが図られることが期待されています。

・鹿児島・宮崎・熊本産のヒノキや杉を取り扱う。



●霧島 混合林 (スギ・ヒノキ)



- ・ MOKU KIRISHIMA 勇
- ・ 海上自衛隊を退官して家具職人を目指し、県立高等技術専門校で学ぶ。
- ・ 家具・食器・雑貨の製作。
- ・ 霧島在住。

工房名 MOKU KIRISHIMA
(モク キリシマ)

代表者 勇 和幸



●芦北町こどもの広場（芦北町コミュニティセンター）

〒869-5498熊本県葦北郡芦北町大字芦北花岡1647
0966-82-2213

- ・2020年12月6日に供用開始。
- ・子どもの広場、図書館、歴史資料展示室、研修室（大・中・小）、調理室、和室、工作室等からなる大型施設。
- ・県産材を使用した建物。
- ・施設→遊びの場・学びの場・交流の場。
- ・設計のコンセプト
「安心して次世代を担う子ども達を育てる」
- ・こどもの広場のコンセプト
ふれあう場所・育む場所・成長する場所
安全で安心して過ごせる場所



木質のコミュニティスペース



ふれあう場所
育む場所

子育て支援



成長する場所

多世代交流施設

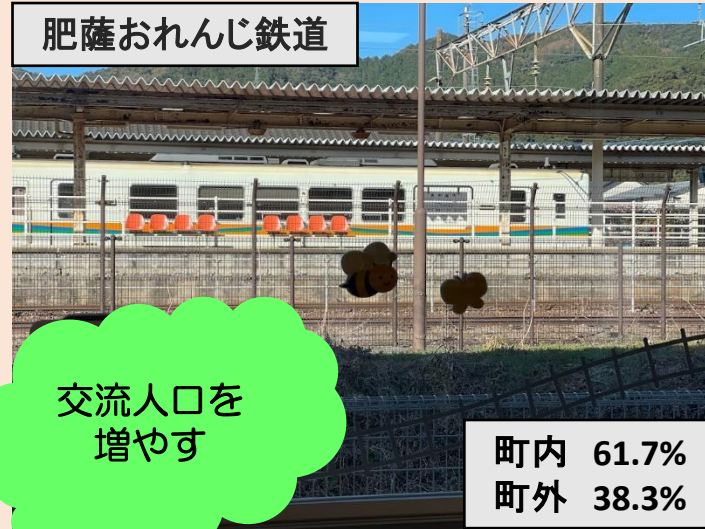


安全で安心して
過ごせる場所

●管理運営について

- ・ 芦北町教育委員会が運営に当たっている。
- ・ 運営体制
正規職員2名（事務職）
- ・ 職員（保育士）
- ・ 開館時間
平日：10時～18時
土日祝：9時～17時
※7、8月：9時～17時（土日祝除く）
- ・ 入館料：無料
- ・ 小学生以上→児童のみでも入館できる
- ・ 未就園児→保護者同伴

肥薩おれんじ鉄道



交流人口を
増やす

町内 61.7%
町外 38.3%

サービスカウンター
Information



町が運営
を担う

木のおもちゃ広場



100種類の
「木のおもちゃ」

専門員



子育て支援

多世代交流



安全で安心して
過ごせる場所

●人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868

熊本県人吉市中青井町343-13
0966-48-4200

- ・1階:肥薩線ゾーン(映像・展示)、ミニトレイン、子どもスペース(プラレール・ままごと・木のボールプール)、水遊び場、カフェコーナー。
 - ・2階:レイルバイク(4ちゃん)、ミニ図書・学習スペース
 - ・屋上:展望デッキ
- ・※MOZOCA(もぞか)は当地の方言で「小さい」、「かわいい」



市が運営

●九州育種場 ～屋久島材の学び～

熊本県合志市須屋2320-5
096-242-3151

- ・国立研究開発法人
森林研究・整備機構 森林総合研究所
林木育種センター 九州育種場
- ・成長等に優れた品種開発を行っている。
- ・屋久島の里の杉をこれからの100年で原種にしていくことが必要。そのためには、原種の苗づくりをしていくことが必要とされている。
- ・屋久島の優れた原種の苗づくりが研究されている。
- ・屋久島の杉は、本土の杉との違いがあり特殊なもの。
- ・地杉を活用し、苗を植え循環していくことが重要！！

様々な地域の杉



原種の苗づくり



屋久島原種の森
づくりがこれから
100年の森づく
りに必要。

優れた種の再生



原種の森づくり



縄文杉

様々な地域の木



●木繋プロジェクトの今後に繋がる要点

屋久島ブランドの発信

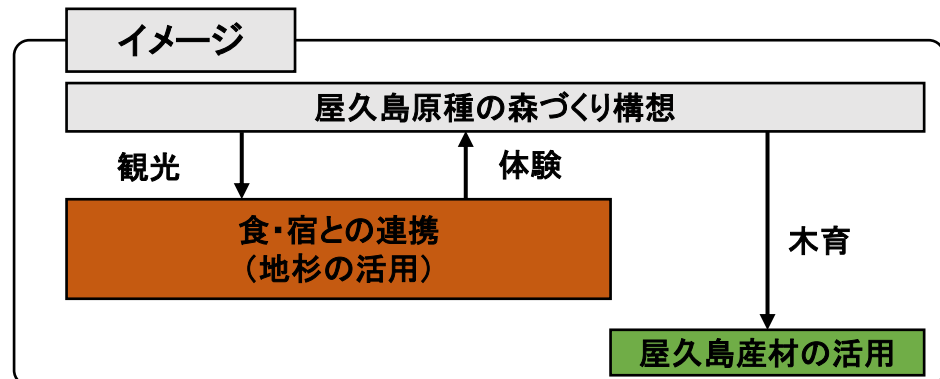
- ・屋久島町は、土地面積の約9割が森林で、その雄大な森林は、私たちの暮らしにとってかけがえのないもの
- ・管内の人工林は、利用可能な資源として充実、これらの森林資源を有効活用することが重要
- ・屋久島の厳しい自然が生み出した優れた地杉を屋久島ブランドとして全国に発信していくことが必要だと感じた。（視察に行き他県と比べることで屋久島産材が優れていることを再認識することができた。）
- ・新たな分野で、屋久島の木材を利用することが必要

観光 × 地杉の利用（屋久島産材）
木育 × 地杉の利用（屋久島産材）

屋久島原種の森づくり

取組内容

- ・100年後の森を「原種の森」に育てていく。（里の森でも1000年の森を楽しみ学べる場所に。）
- ・地杉の優れた性質（香りが強い・防腐性能）を発信していく。



原種の森づくり



- ◆食・宿での地杉の活用
- ◆原種の森づくり体験プログラム
- ◆「木育」の取組を推進することで、新たな木材需要の創出・地域活性化を図る。体験プログラムの提案。